

酸素窒素水素同時分析装置

機器の概要

金属材料の強度、もろさ等の材料特性や品質等に強く関係する酸素・窒素・水素の含有量を分析する装置です。

航空機等で使用される金属材料の当該元素含有量分析、品質管理等に用います。



主な仕様

- ・機能：酸素、窒素、水素を同時に分析可能
- ・分析範囲：酸素0.000004～5.0%，窒素0.000004～3.0%，水素：0.000008～0.25%
- ・対象：鉄鋼、鋳鉄、チタン合金、アルミ合金、銅合金、セラミックス等
- ・対応規格

- (1) 鉄及び鋼—酸素定量方法：JIS G 1239(2014)，ISO 17053，ASTM E1019
- (2) 鉄及び鋼—窒素定量方法：JIS G 1228(2006)，ISO 10720，ASTM E1019
- (3) チタン合金—酸素、窒素定量方法：ASTM E1409

メーカー：(株)堀場製作所

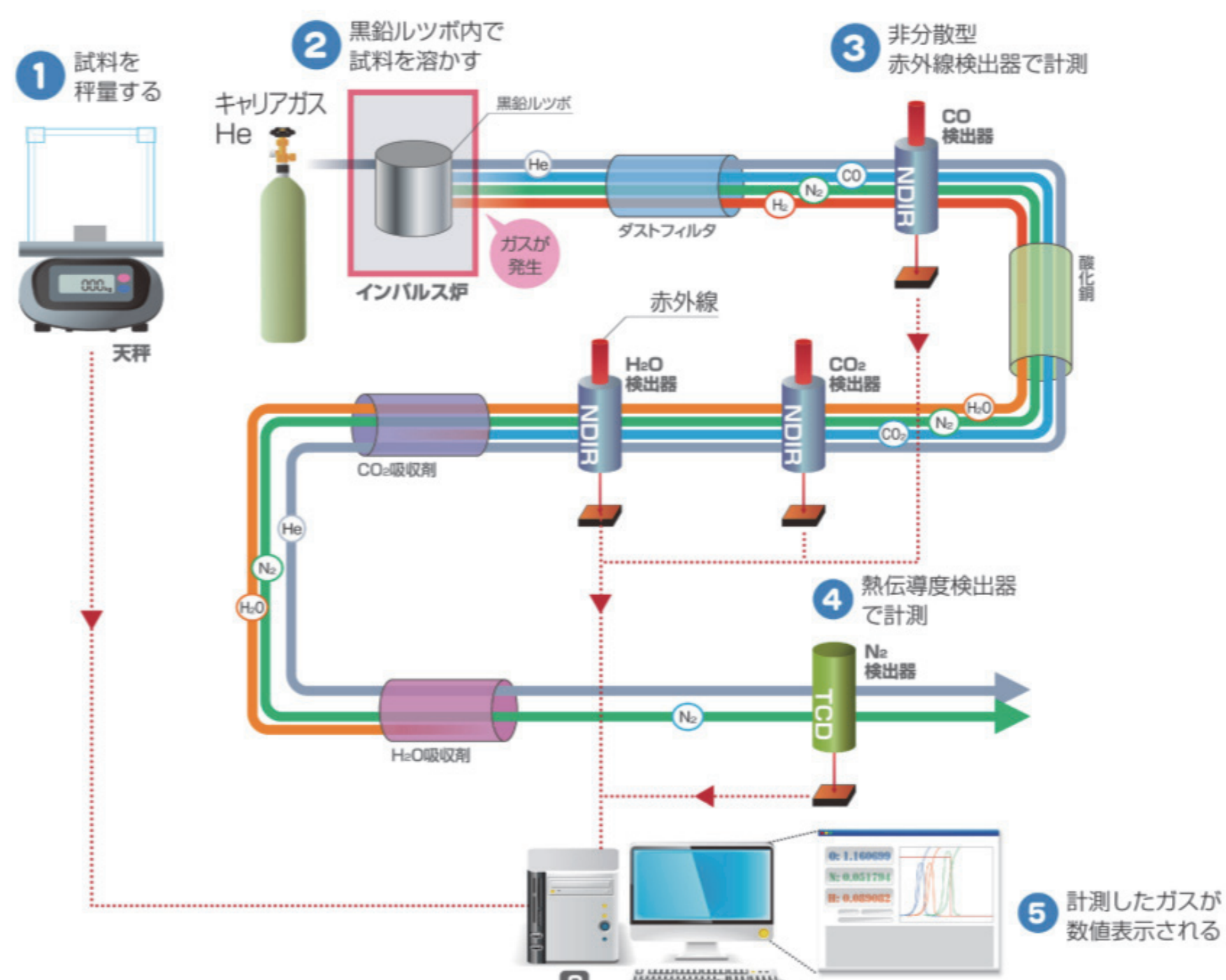
型式：EMGA-930

画像：(株)堀場製作所提供

活用事例

- ・溶接や鋳造による部品等の酸素窒素水素定量分析
- ・アルミ鋳物に混入した酸素窒素水素定量分析
- ・亜鉛鍍金、セラミックス等の新製品開発や品質管理
- ・鉄鋼の新製品開発や品質管理
- ・燃料電池関連の水素配管等の品質管理

<測定原理>



画像：(株)堀場製作所提供



—発信します 明日を拓く 確かな技術—

栃木県産業技術センター
Industrial Technology Center of Tochigi Prefecture

